

の鑑別は必ずしも容易ではなかった。

### 9) 巨大な後腹膜腫瘍の2例

大野 隆史・佐々木正貴  
中沢 俊郎・青柳 豊  
上村 朝輝・朝倉 均 (新潟大学第三内科)

76才男性. US, CT, MR にて右後腹膜腔に超成人頭大の脂肪主体の腫瘍を認めた. 大動脈造影にて腫瘍血管は認めなかった. 手術にて腫瘍は 6500g と巨大なもので, 周囲との癒着は認めなかった. 組織にて幼若な細胞を持った mixomatous な間質と高度の脂肪織が混在する liposarcoma であった.

58才男性. US, CT, MR にて左右の後腹膜腔に両腎上極に接する脂肪主体の腫瘍を認めた. 大動脈造影にて腫瘍血管は認めなかった. 手術にて右腫瘍は 152g, 左腫瘍は 3000g で, 周囲と高度の癒着を認めた. 組織では副腎皮質より連続する脂肪を主体とするもので, 一部骨髄同様の造血巣を認め, 両側副腎皮質より発生した myelolipoma であった.

以上後腹膜腫瘍の2例を報告した.

### 10) 胃全摘後空腸重積症の1例

松田 康伸・尾崎 俊彦 (済生会新潟総合  
病院消化器科)  
本間 明  
相場 哲朗・川口 正樹 (同 外科)

症例は70才, 男性. 27年前に胃潰瘍で胃全摘術をうけていた. 突然の上腹部痛と頻回の吐血で当科受診した. 腹部単純X線, 内視鏡では吐血の原因は, 診断不能であった. エコー, CT で, 腸重積症に特徴的な, 重積腸管の同心円状の多重層パターン (multiple concentric ring sign) が2つ接して存在し, さらに上部消化管造影で輸入脚への造影剤の流入, 輸出脚のカニ爪状の閉塞を認め, 胃切除後空腸重積症と診断された. 開腹術にて食道空腸吻合術の再建は Billroth II法であり Braun 吻合部の下行性腸重積症と確認された. 腸重積症の診断において, 近年エコー, CT の有効性が報告されており, 術後の急性腹症において積極的な使用が望まれる.

### 11) 術後腹部大量出血症例に対する TAE の効果

関 裕史・加村 毅  
木村 元政・酒井 邦夫 (新潟大学放射線科)

腹部大量出血16例について経カテーテル動脈塞栓術 (TAE) を中心に検討した.

血管造影は出血部位を正確に把握でき, 止血の方針を立てるうえで有用である. また, TAE 後に血行動態の評価を行うこともできる. TAE は破綻動脈の両側を閉塞することが望ましいが, 一侧の閉塞であっても出血を一時抑さえ, 待期的に外科的止血を行うことも期待できると思われた.

肝動脈塞栓後トランスアミナーゼは一過性に上昇することがあるが, トランスアミナーゼの値と予後には相関は認められなかった.

血管造影施行後に止血処理を行った症例は, 血管造影を施行しなかった症例に比べ生存率が高く, 出血に際してはまず血管造影を行うべきであると思われた.

### 12) Budd-Chiari 症候群を伴った原発性肝細胞癌の1例

須田 剛士・畠山 重秋  
阿部 惇 (県立中央病院内科)  
山岸 広明 (同 放射線科)

肝細胞癌の浸潤により Budd-Chiari 症候群を生じ, Lipiodol-TAE 療法が著効を示した一例を経験したので報告する. Anti-HCV 陽性の56才の男性. 陰嚢腫脹, 下腿浮腫を主訴に入院. 腹部—US, CT にて S8 に 3 cm 大の腫瘍と肝部下大静脈をほぼ完全に占拠する病変を認めた. 腹腔動脈造影にて S8 病変の濃染と同部から IVC への A-V shunt を認めた. IVC は Th10-12 間で陰影欠損像を示し, 両側 C. iliac 合流部から同部まで多量の血栓を認め, 傍椎骨静脈叢を明瞭に認めたが門脈系はほぼ正常であった. rt-hepatic A. より ADM 30mg/MMC 16mg/Lipiodol 4ml を注入, 治療後 CT にて腫瘍の縮小と同部への Lipiodol の集積をみた. 血管造影にて IVC の陰影欠損は明らかでなくなり血栓もほぼ完全に消失した. 症状も消失し, PIVKA-II は 1.1 AU/ml から 0.5mml/ml 以下へと低下した.

### 13) CR angiography による肝腫瘍性病変描出の試み

早川 晃史・市田 隆文  
五十嵐健太郎・銅治康之  
朝倉 均 (新潟大学第三内科)  
吉村秀太郎 (新潟大学中央放射線部)

CR (computed radiography) システムでは, X線感光フィルムの代わりにイメージングプレートをX線検出器として用い, デジタルデータ処理を行い画像を示現させる. 我々は1988年後期より血管造影に CR シス